

過去形：be動詞の3つの使い分け

	主語	例文	ポイント
肯定文	1人称	I <u>was</u> happy. 私は幸せでした。	<be動詞の過去形> 覚えるべき絶対条件！ am → was are → were is → was
	2人称	You <u>were</u> happy. あなたは幸せでした。	
	3人称単数	Mike <u>was</u> happy. マイクは幸せでした。	
	3人称複数	They <u>were</u> happy. 彼らは幸せでした。	
否定文	1人称	I <u>was</u> not happy. 私は幸せではありませんでした。	「否定文」の時には、 be動詞の後ろに「not」を置きます。 I <u>was</u> not =I <u>wasn't</u> <u>were</u> not = <u>weren't</u> <u>was</u> not = <u>wasn't</u>
	2人称	You <u>were</u> not happy. あなたは幸せではありませんでした。	
	3人称単数	Mike <u>was</u> not happy. マイクは幸せではありませんでした。	
	3人称複数	They <u>were</u> not happy. 彼らは幸せではありませんでした。	
疑問文	1人称		「疑問文」の時には、 文の先頭にbe動詞（過去形） を置きます。 肯定分の主語とbe動詞を入れ替えて ?を付ける。
	2人称	<u>Were</u> you happy? あなたは幸せでしたか？	
	3人称単数	<u>Was</u> Mike happy? マイクは幸せでしたか？	
	3人称複数	<u>Were</u> they happy? 彼らは幸せでしたか？	